

平成27年度進行管理・評価シート
向日市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成27年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法に基づく連携	2
2 景観法に基づく連携、屋外広告物に基づく連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的建造物(須田家住宅)活用事業	4
2 歴史的建造物(富永屋)活用事業	5
3 歴史的石碑・常夜燈保全活用事業	6
4 西国街道整備事業	7
5 竹の径景観保全事業	8
6 長岡宮跡周辺道路美装化事業	9
7 歴史的文化交流拠整備事業	10
8 情報案内板設置事業	11
9 観光マップ作製事業	12
10 長岡京・平安京連携事業	13
11 長岡京広報・PR事業	14
12 向日市文化資料館企画展示実施事業	15
13 発掘調査説明会事業	16
14 市民歴史活動連携事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること	18
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組みに関すること	20・21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	22・23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
住民意識調査「向日市まちづくり市民アンケート」による満足度、重要度調査	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	25
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
向日市歴史的風致維持向上協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	「向日市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。 本計画の実現に向けて、市長公室企画調整課、建設産業部都市計画課および教育部文化財調査事務所が事務局となり、庁内関係各課で組織されている「向日市歴史まちづくり庁内推進会議」において計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
学識経験者、地元関係団体、行政(国、府、市)により構成される「向日市歴史的風致維持向上協議会」を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業内容について意見を聞くことができた。開催回数 1回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
平成27年11月6日(金) 平成27年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会開催 【内容】 (1)平成27年度実施事業について (2)重点区域内の文化財の指定・登録等について(報告) ○向日神社境内社の国登録有形文化財について ○向日丘陵古墳群の史跡指定に向けて ○史跡長岡宮跡の発掘調査について			
			

評価軸②-1

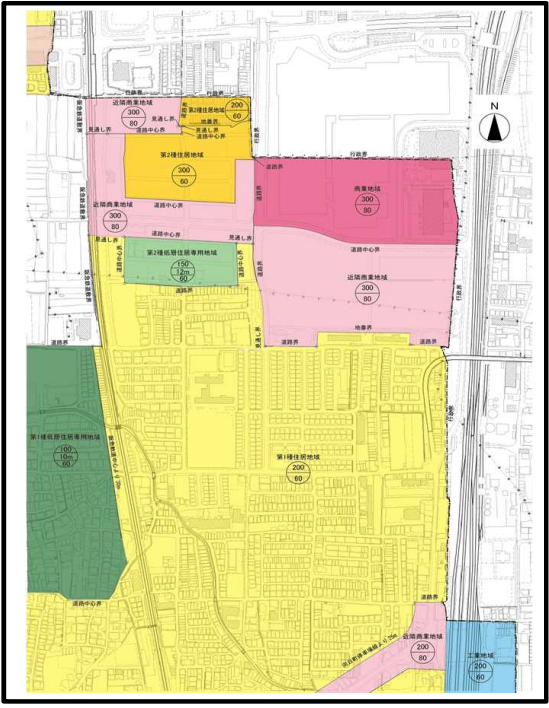
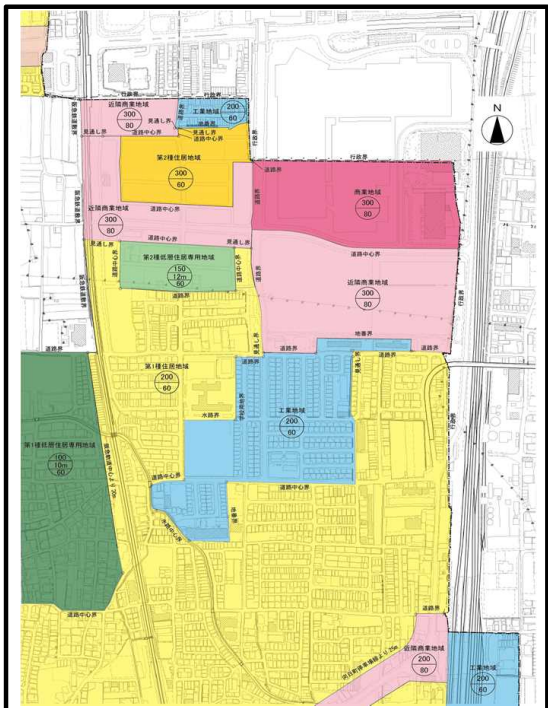
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
都市計画法に基づく連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域の市街化区域には、用途地域、高度地区や風致地区が指定され、建築物の高さの制限が行われており、引き続き良好な市街地環境の保全を図っていく。 将来のまちづくり計画と整合した都市計画道路網となるよう都市計画道路の見直しを行い、その際、道路整備による歴史的資源への影響を確認する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内の工業地域を第1種住居地域に変更するとともに、第2種高度地区を指定した。 都市計画道路の道路評価の1つに、道路整備による歴史的資源への影響を設け、その項目について確認した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

京都都市計画地用途地域

変更前

変更後



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
景観法に基づく連携 屋外広告物法に基づく連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	景観計画の策定の中で、景観計画区域を市域全域に位置付け、本市の特徴を「歴史的景観」「自然的景観」「市街地景観」の3つに分類し、それぞれの地域特徴に応じた景観形成に努めることとしている。 このうち特に、向日丘陵の自然景観、向日神社や西国街道沿いの歴史的景観、阪急西向日駅周辺の良好な低層住宅地景観などは本市として守っていき、また、良好な景観を形成していくべき地区であることから、「景観重点地区候補地」に位置付けることを検討している。 なお、景観計画は、この歴史的風致維持向上計画の内容を反映したものとし、歴史的風致の維持向上にも期するものとする。 また、屋外広告物は、景観に対する影響が大きいことから、景観計画の中で、屋外広告物に対する考え方を整理し、向日市らしい屋外広告物の施策を調査・研究することとしている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
景観計画の事務局原案の内容が、歴史的風致維持向上計画の内容と大きく異なる所が無い確認を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	景観計画の内容と歴史的風致維持向上計画とすりあわせを行い、方針や内容について協議検討を行う。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
歴史的建造物(須田家住宅)活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	京都府指定有形文化財に指定されている須田家住宅は、平成3年(1991)に、大規模な改修が行われており適切に保存されているが、一般公開が中断している。須田家住宅について、内部の一般公開に向け利用できるよう、公有化や耐震化などの改修を含め、保存・活用をおこなう。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
須田家住宅の活用方策について、検討業務を実施予定であったが、所有者との一般公開を含めた協議が困難であったため、平成27年度の検討業務は休止した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	事業期間を平成29年度までとしているが、現在の所有者の意向では達成が困難である。 所有者との協議を行い、事業期間の変更についても検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



京都府指定文化財 須田家住宅

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
歴史的建造物(富永屋)活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	江戸時代初期にはすでに存在が確認されており、町屋遺構として貴重な存在である富永屋は、現代風改築が著しく、また、老朽化も激しい状態にある。未指定ながら、享保20年(1738)の棟札が残る富永屋について、西国街道沿いのまちなみ景観の保全につながる修景を行い、市民活動や来訪者に対する案内および情報発信する拠点として利用できるよう、公有化や耐震化などの改修を含め、保存・活用を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
富永屋の活用方策について、建物の保存活用、整備等の方向性について検討できるように、建物の現況整理や活動状況、他事例について調査を実施することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	調査結果において、保存活用についての課題も把握され、今後の活用事業について、事業期間の変更や活用方法の変更についても検討が必要となる。		
状況を示す写真や資料等			



富永屋 外観



富永屋 内観

評価軸③-3

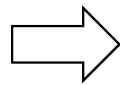
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度			
歴史的石碑・常夜燈保全活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成27年度					
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)					
計画に記載している内容	市街地開発による急激な環境の変化の中で、道路拡幅などにより位置がずれたり、現代的なまちなみの中に埋もれてしまった街道筋にある石碑や常夜燈について、市民により身近に、親しみを感じてもらえるよう、ポケットパークを活用して適切な場所に配置する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
現代的なまちなみに埋もれてしまった石碑を適切な場所に移設することで、歴史ある街道として再認識することができるようになった。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						

【光明寺道石碑を移設】



(移設前)



(移設後)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
			現在の状況
西国街道整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容

西国街道を通常のアスファルト舗装から、石畳風の道路舗装に改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度整備 61m

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

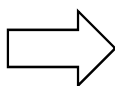
■計画どおり進捗している

□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



(整備前)



(整備後)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
竹の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)

計画に記載している内容 歴史的資源であるタケノコづくりから出る廃材などを利用し、延長約1.8kmに設置された8種類の竹垣の保全改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度整備 331.9m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

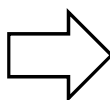
☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【竹垣の保全の様子】



(整備前)



(整備後)



竹垣の改修の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
長岡宮跡周辺道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～平成29年

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社などを結ぶ道路について、公共交通機関である阪急西向日から史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社を結ぶ道路の美装化(カラー舗装など)をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備済 111m

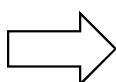
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



(整備前)



(整備後)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史的文化交流拠点整備事業		■実施済 ☐実施中 ☐未着手	
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民体育館、市民ふれあい広場、温水プールが設置されている地区は、発掘調査などにより柱跡など貴重な文化財が発見されており、市民が身近に歴史を感じ集う古都ができる場所である。そのため、本市の歴史・文化について、地域交流活動の拠点としての機能を向上させるとともに、通年の地域交流活動に利用しやすいよう、空調設備の新設、文化財や市民活動による作品を展示するスペース、ギャラリーなどを整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
向日市民体育館の体育室に空調設備を新設し、ロビー、エントランス部分に歴史文化交流センターを整備し、歴史文化交流拠点として整備した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



(整備前)



(整備後)



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
情報案内板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～平成36年度		
支援事業名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生型)		
計画に記載している内容	車での来訪者、公共交通機関を利用しての来訪者を歴史的資源の場所へ導くための標識を主要な道路などに設置する。駅前や主要な公共施設などに、歴史・文化資源の位置を示した案内板を設置する。主要な史跡、歴史的建築物や行事などの内容を記した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市への来訪者が歴史文化資源を安心、安全に楽しく周遊できるよう、主要な道路、駅から歴史的資源へと導く標識や案内板、説明板等を計画的に設置するための基本設計を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
「向日市歴史文化観光情報板設置計画」を策定し、観光情報板、案内板の種類の選定、設置箇所の決定等を行い、平成28・29年度にわたり計画的に設置できるようにした。 <平成27年度実施内容> ○観光情報板設置箇所の候補地と種類選定 ○観光情報板設置箇所の決定 ○観光情報板の本体の規模・意匠等の検討・設定 ○観光情報板の表示板の内容等の検討・設置 ○概算工事費の算出 ○年次計画の策定 ○基本計画書の作成 ○実施設計書の作成			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
観光マップ作製事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致を円滑に周遊できるよう訪問しやすい、回遊ルートや歴史資源を分かりやすく示した観光マップを作製する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

貴重な歴史を感じながら楽しく安全に周遊できるまちづくりを進めるため、向日市の歴史・文化資源を分かりやすく紹介し、訪問しやすい環境を整えるため、マップを作成した。発行部数 7000部

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



観光マップ「向日市歴史まちガイドマップ」

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
長岡京・平安京連携事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～平成36年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	長岡京の次に、隣接する京都市に平安京が建都されたことから、共通するそれらの歴史や歴史的風致をキーワードとして、京都市と協働で「竹の径・かぐやのタベ」や歴史巡りウォーキングなど効果的なイベント事業を検討し、実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度実施イベント「かぐやのタベ」「竹結びフェスタ」 参加者数:「かぐやのタベ」約6,500人 「竹結びフェスタ」約8,000人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



＜向日市・京都市(西京区)相互交流事業＞

平成27年10月17日開催「竹結びフェスタ」

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
長岡京広報・PR事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 長岡京が向日市にあったことを市内外に周知し、認知度を向上するため、長岡宮跡の共通ロゴやPR看板などの作製など、広報PR活動を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度は公共交通機関を利用した広報の実施、ロゴマークの活用したグッズ製作を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【ロゴマーク】



京都新聞 平成27年10月1日付

一般公募で募集

募集期間:平成27年7月15日(水)

～8月21日(金)

市民を中心に北海道や宮崎県など
全国各地から計115人、189点の応募



ピンバッジ
(1個300円で販売)

【公共交通機関を利用した広報】



JR向日町駅看板



阪急バス



阪急西向日駅看板



JR向日町駅構内

【歴史・観光専用ホームページ】



【facebook】



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
向日市文化資料館企画展示実施事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和59年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化のまちづくりの中核拠点となる文化資料館において、さまざまな時代における歴史・文化の企画展を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特別展「乙訓の西国街道と向日町」開催中の来館者数 1,704人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

特別展の様子



文化資料館 特別展「乙訓の西国街道と向日町」
11月7日(土)～12月13日(日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度			
発掘調査説明会事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	昭和52年度～平成36年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	埋蔵文化財の確実な保存・活用を図るため、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに、発掘した成果について説明会を開催することなどによって、必要な情報提供などの支援を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
説明会において、スマートフォンやタブレット端末から当時の建物の復元CGを見ながら巡れるアプリを用意するなどして、埋蔵文化財の確実な保存・活用を図っていくため市民の理解を醸成することができた。参加者数:約300人						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						



日時:平成27年10月25日(日)

場所:向日市鶏冠井町大極殿地内及び
大極殿公園内容:長岡宮大極殿回廊の検出状況について
AR長岡宮で体験する史跡長岡宮跡

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
			現在の状況
市民歴史活動連携事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度から平成36年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	向日市まつりなど本市で開催されるイベントと連携して行われる歴史・文化の市民活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
多くの人が集まる「向日市まつり」と連携して、「古代衣装ファッションショー」「西岡衆武者行列」を行い、より多くの人に本市の歴史・文化に対する認知と理解を深めることができた。 参加者数:「古代衣装ファッションショー」 48人(幼児3人、小中学生27人、16歳以上18人) 「西岡衆武者行列」 37人(こども手づくり甲冑隊26人、西岡衆武者隊10人、my甲冑隊1人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



古代衣装ファッションショー 11月14日(土)



西岡衆武者行列 11月15日(日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	重点区域内に存在する指定等文化財について、文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財を市民の遺産として守り育てるという市民意識の醸成を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①埋蔵文化財発掘調査については、長岡京跡ほか10件、詳細分布調査205件を行い、調査報告書第104集を刊行した。(300冊)		
②五塚原古墳測量調査において、五塚原古墳及びその周辺の埋蔵文化財等の状況を把握するため現況調査を実施した。		
③平成28年3月1日、乙訓古墳群(本市の古墳は5基)が史跡指定され、向日神社境内社13棟についても国登録文化財登録原簿へ登録された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

①埋蔵文化財発掘調査



大極殿西・北面回廊地区発掘調査状況(南から)

②五塚原古墳測量調査



五塚原古墳及び周辺地形測量業務風景



乙訓古墳群－五塚原古墳(北東上空から)

③史跡指定・原簿登録



向日神社弊・拝殿(南東から)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成27年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財は、火災や事故、盗難などにより消滅や毀損すれば、再び回復することが不可能になることがある。文化財の保存修理(整備)が必要な場合は、文化財の価値を損なうことなく損傷箇所などの修理を行う必要がある。 文化財の所有者・管理者は、文化財の保存修理について深く認識し、施設の維持管理と修繕、周辺環境の整備、日常の保守点検の強化、関係機関との密接な連絡等を徹底し事故等の根絶を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①文化財の修理事業 未指定文化財 紙本着色 穆中様之像(六人部忠篤) 1幅 保存修理 市補助金344,000円 ②文化財の周辺環境整備事業 西国街道整備(61m) ③文化財の防災(防火・防犯) 文化財消防訓練、文化財立ち入り検査を実施 文化財防災設備保守点検補助 向日神社(国指定)200,000円、南真経寺(府指定)19,000円 須田家住宅(府指定)24,000円 ④文化財・防火傍点周知 文化財防火週間看板設置、防火防犯周知徹底通知		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 文化の修理(修理後の穆中様之像)  文化財立ち入り検査 日時:平成28年1月25日(月) 場所:向日神社 南真経寺 北真経寺  文化財消防訓練 日時:平成28年1月24日(日) 場所:向日神社  文化財防火周知看板		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化資料館等の施設を有効に活用し、企画の充実を図るとともに、関係施設の連携を深め、文化財の資料収集や調査研究を推進するとともに、施設機能の充実と公開活用を行い、一体的な情報発信に取り組むこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1 文化財の普及啓発の取組(展示、講座、講演会、教室等) (1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」年間入館者数 11,362人 (2)史跡長岡宮跡朝堂院公園史跡案内 年間見学者数 8,218人 (3)物集女車塚古墳石室一般公開(H27.5.25～H27.5.31)参加者数 761人 (4)市民考古学講座(5回開催)・関連講演会(1回) 講座参加者数 269人 講演会参加者数 149人 (5)埋蔵文化財サロン(2回開催) 参加者数 28人 (6)発掘調査現地説明会(H27.10.25、H27.12.19) 参加者約700人 (7)発掘調査スライド大会「スライドで見る乙訓の発掘」(H28.3.13) 参加者数 126人 (8)埋蔵文化財調査成果展示会「埴輪からみた向日丘陵の古墳」(H27.9.12～H27.10.25)、関係講演会 期間中入館者数 1,180人 講演会参加者数 178人 (9)文化資料館特別展「乙訓の西国街道と向日町」(H27.11.7～H27.12.13) 期間中入館者数 1,704人 (10)文化資料館特別展記念講演会「道の呼び名と京の街道」「京都からのびる近代の道」(H27.11.21) 参加者数 101人 (11)文化資料館テーマ展示「長岡宮大極殿の発掘と地元の人々」(H28.2.6～H28.3.30) 期間中入館者数 1,850人 (12)文化資料館ラウンジ展示 「フィルムが語る乙訓・向日」、「木村吉太郎作品展『むこうし・おとくにを描いた絵画』」(H27.4.1～H27.6.28) 「くらしのなかの戦争展」(H27.7.17～H27.8.30)、「夏休みこども歴史教室作品展」(H27.8.1～H27.8.14) 「くらしの道具展」(H28.1.22～H28.3.22) (13)夏休み子ども歴史教室「兜(かぶと)をつくろう！」(H27.7.29・30) 参加者数 25人 古代衣装ワークショップ(H27.8.7・8、H27.8.21・22) 参加者数 152人 (14)古代衣装ファッションショー(H27.11.14) 参加者数 224人 (15)歴史ウォーク「向日町と西国街道を歩く」(H27.11.28) 参加者数 37人 (16)「大極殿のあるまち向日市の歴史」講演会(H28.2.14) 参加者数 117人 (17)日曜談話会「昭和の戦争と地域」(H27.8.9) 参加者数 23人 「洛外図屏風」細見「秀吉がつくった唐海道と京都・山崎間の西国街道」(H27.12.6) 参加者数 54人 (18)スタンプラリー(史跡めぐり)(H28.2.7) 参加者数 約500人 2 民間団体への助成・支援 (1)国登録文化財中小路家住宅 文化活動補助 40,000円 (2)大極殿遺跡保存協賛会 文化活動補助 40,000円 (3)森本遺跡保存会 文化活動補助 19,000円 (4)物集女城を考える会 文化活動補助 19,000円 (5)府指定文化財 鶏冠井題目踊保存会 後継者育成補助 35,000円 (6)市指定文化財 鶏冠井シャナンホウ保存会 後継者育成補助 35,000円 (3)民間団体との連携・協力 ①市民団体行事及び向日市まつりでの埋蔵文化財出土遺物展示			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

1 文化財の普及啓発の取組



(2)史跡長岡宮跡
朝堂院公園史跡案内



(3)物集車塚古墳石室
一般公開



(4)市民考古学講座



(6)発掘調査現地説明会



(7)「スライドで見る乙訓の発掘」



(8)埋蔵文化財調査成果展示会



(9)「乙訓の西国街道と向日町」



(10)「京都からのびる近代の道」



(11)「長岡宮大極殿の発掘と
地元の人々」



(12)「フィルムが語る乙訓・向日」



(13)夏休み子ども歴史教室
「兜(かぶと)をつくろう！」



(16)「大極殿のあるまち
向日市の歴史」



(18)スタンプラリー(史跡めぐり)

2 民間団体への助成・支援



大極殿祭開催状況

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成27年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
「光明寺への道」石碑移設		H27.4.17	京都新聞
「竹の径」放置林対策へ		H27.6.13	京都新聞
長岡宮跡のPRロゴ考えて		H27.8.11	京都新聞
長岡京の中心地PRロゴ決定		H27.10.1	京都新聞
向日市の歴史・観光HP 市開設 古墳など6ジャンル		H27.10.10	京都新聞
竹の径・かぐやのタペ 竹結びフェスタ うっとり幻想世界と出会い		H27.10.20	京都新聞
写生の東寺タッチ独特 向日市が審査		H27.10.22	京都新聞
長岡宮・大極殿院 回廊北西角に柱穴8基		H27.10.23	京都新聞
長岡京の大極殿院 規模わかった		H27.10.23	朝日新聞
大極殿北西に柱土台跡 長岡宮跡		H27.10.23	読売新聞
長岡宮跡 大極殿院の回廊出土 規模解明の資料に		H27.10.25	産経新聞
長岡宮は向日市にあった		H27.11.6	京都新聞
古代衣装色彩鮮やか		H27.11.15	京都新聞
西岡衆行列 甲冑勇壮に 大人が初参加		H27.11.16	京都新聞
江戸期乙訓読み解いて 向日市文化資料館 屏風や「ガイド」展示		H27.12.8	京都新聞
古都のむこう 魅力PR「歴まちロゴ」とキャッチコピー 向日市が制定		H27.12.15	産経新聞
長岡宮の遺跡CGでリアル		H27.12.16	京都新聞
3世紀「五塚原古墳」公園部は正円形		H27.12.17	京都新聞
五塚原古墳と「卑弥呼の墓」 後円部も同形状		H27.12.17	読売新聞
向日・五塚原古墳 後円部3段築造の正円形		H27.12.17	産経新聞
五塚原 後円3段、前方2段 向日 同構造古墳では最古		H27.12.17	毎日新聞
後円部 直径55メートルの正円 京都・五塚原古墳、箸墓のてがかりに		H27.12.18	朝日新聞
PRロゴ 無償使用OK 向日市歴史的資源発信へ		H28.1.11	毎日新聞
向日市HP 全面リニューアル		H28.1.7	京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ロゴマークやキャッチコピーを制定されたことや歴史・観光のホームページが開設されたことが取り上げられ、向日市に長岡京の中心地があったことが広くPRすることができた。 ・発掘調査によって発見された貴重な史跡、古墳や現地説明会開催について取り上げられ、向日市の歴史・文化資源を広くアピールすることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			



京都新聞 平成27年10月1日 朝刊掲載



京都新聞 平成27年12月16日 朝刊掲載



京都新聞 平成27年10月20日 朝刊掲載

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

平成27年度

項目

住民意識調査「向日市まちづくり市民アンケート」による満足度、重要度調査

計画に記載
している内容

これまでから「『大極殿のあるまち 向日市』として全国に知られたまち」を目標すべき将来の姿との1つとして、歴史・文化財の保全に努めており、ふるさと向日市に対する愛着を高めるとともに、本市の歴史文化を守り育てていこうというまちづくりの姿勢を発信していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市の最上位計画に位置づけされる「ふるさと向日市創生計画」が策定のために実施した市民アンケートの、「歴史文化資源に関する情報発信や有効活用」の項目に係る、満足度(「満足」「やや満足」、重要度(「高い」「やや高い」)の割合(平成27年9月実施)

満足度:「満足」「やや満足」 8.6%

重要度:「高い」「やや高い」 28.5%

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐ 計画の進捗に影響あり☒ 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

歴史文化資源に関する情報発信や有効活用に係わる「満足度」

満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	合計
12人	71人	679人	81人	22人	98人	963人
1.2%	7.4%	70.5%	8.4%	2.3%	10.2%	100.0%

歴史文化資源に関する情報発信や有効活用に係わる「重要度」

高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	無回答	合計
82人	193人	510人	51人	21人	106人	963人
8.5%	20.0%	53.0%	5.3%	2.2%	11.0%	100.0%

「満足度」については、「満足」「やや満足」は合わせて、8.6%、「やや不満」「不満」を合わせて、10.7%で、「やや不満」「不満」の方が割合が高くなっており、歴史文化資源が有効に活用できていないのではないかという結果がでています。

平成27年度には、認知度の向上を図るため、ロゴマークの作成、認知度向上のために公共交通機関等を利用した広報やピンバッジの販売を行い、市外からの問い合わせも増加し、認知度向上につながったものと考えます。

また、「重要度」については、「高い」「やや高い」が合わせて28.5%、「やや低い」「低い」が合わせて7.5%で、「高い」「やや高い」の方が割合が高くなっており、歴史文化資源の活用が重要であるとの結果がでています。

歴史文化資源の活用は重要であるが、有効活用できていないという結果であり、引き続き、認知度向上のために事業を実施していくものです。

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成27年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:平成27年11月6日 14:00～15:30	
(コメントの概要)	
○計画初年度からたくさんの事業が始まっており、またPRも進んでいて安心した。 ○石碑・常夜燈の移設について、どのような理由でこのように整備したなどを整理してもらいたい。やむを得ず移動されていたものをできる限り元の位置に戻すという方向で実施されるのは良いことと考える。 ○石碑・常夜燈の移設について、説明文などを合わせてつけるとよいのではないか。 ○道路の整備については、歩行者の安心、安全を重視し、バリアフリーに対応した歩きやすい道路にしていくべき。 ○マップについては内容説明は丁寧に書いてあると思うが、かたいという気がする。もう少し表現をやわらかくした方がよいのではないか。 ○広報・PRについて色々な戦略が立てられている。facebookやホームページ以外に映像を使つての広報は分かりやすくてよいのではと考える。 ○風致景観を守ることについて、行政だけで守れるものではなく、地域の方が主体となって進める必要がある。地域の方が参加できる仕組みを今後考えていく必要がある。 ○歴史的な景観ということで、現状の残りが良くなくても本来の「ほんまもん」がここにあったという真正性を大事にするべき。	
(今後の対応方針)	
○今後の西国街道や長岡宮周辺道路等の整備、修景については、歴史性も踏まえながら、安心、安全に歩くことができるように整備を進めていくということを、市民の方々にしっかり伝えて事業を実施していく。 ○認知度向上のための広報、PRについては、引き続き効果的なPRが展開できるよう、組織体制を充実し実施していく。	